

JAM熟練技能継承事業ニュース

発行：2012年12月19日
JAM熟練技能継承推進室

コーディネーター重要役割果す

～熟練技能継承事業・運営委員会開催～

JAM熟練技能継承事業では、ユーザーである高校や中小企業に対し熟練技能者を指導者として派遣して技能指導を行っているが、ユーザーのニーズに合った指導者を探して希望日程のマッチングを図るコーディネーターが重要な役割を果たしている。12月14日JAM熟練技能継承推進室はコーディネーターを交えた運営会議を開催し、今年を振り返って来年への課題などを話し合った。



＜JAM熟練技能継承推進室運営会議の様子＞

埼玉県では、鈴木孝夫コーディネーターの働きかけにより、指導を受ける高校が3校増え、中小企業でも指導を受ける職種が4職種に広がった。鈴木(孝)氏は「来年は指導先をどこまで増やせるかチャレンジし、指導者の若返りも図りたい」と意気込んでいる。

岐阜県では、鈴木準二コーディネーターの働きかけにより、今年度は県下の工業系高校11校のうち自己完結できる1校を除く10校に指導者を派遣している。鈴木(準)氏は「熟練技能者の熱心な指導に助けられている。

この人たちを大切にしていきたい」と、指導者の献身的な活躍に感謝の言葉を述べている。

大阪では、渡邊時男・叶迫雅尉の両コーディネーターが協力して大阪地区のユーザー開拓をしており、今年度は指導を受ける高校が4校増え、前年度実績がなかった中小企業についても2社の実績をあげている。渡邊氏は「今後は、指導を受けたら必ず検定に合格するよう、中身を充実したい」と語り、叶迫氏は「組合を通じて中小企業を広げたい」と、来年度へ向けた意欲に溢れている。

平成24年度の事業の推進状況は順調に推移しており、高校への指導日数の事業計画450日（前年度実績351日）および中小企業に対する計画100日（同20日）を達成する見通しとなっている。（下表参照）今年度残された期間、JAM熟練技能継承推進室はコーディネーターの協力によりこれを完遂していく。

JAM熟練技能継承事業 平成24年度実施見通し

2012.12.11現在						
実施地域	埼玉	岐阜	大阪	他地域	合計	
熟練技能者数	12名	7名	7名	1名	27名	
高校	実施高校数	10校	10校	11校	—	31校
	指導予定日数	181日	160日	116日	—	457日
企業	実施企業数	4社	0社	2社	2社	8社
	指導予定日数	68日	0日	16日	16日	100日
合計予定日数	249日	160日	132日	16日	557日	